



10月は 米 山 月 間



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース



ハイライト よねやま

vol. 283

2023年10月13日
発行

1. 日本語スピーチコンテストに現役奨学生が入賞

9月10日、熊谷市立文化センター文化会館で「第31回外国人による日本語スピーチコンテスト」が開催され、第2570地区の現役奨学生2人が参加しました。

18人が出場した同コンテストは、熊谷市内在住の外国人が母国と日本の違いや感じたことを日本語で伝え、相互理解を深める目的で開催されています。

ネパール出身のギミレ ウジョルさん(2023-25/熊谷RC)は、「あなたの中に何かが見えるか」というテーマでスピーチし、優秀賞を受賞。「例会での卓話経験のおかげで自信を持ってスピー



第31回 外国人による日本語スピーチコンテスト

コンテスト後、壇上で記念撮影

チができました。他の参加者の発表を聞いて、勉強にもなりました」と感想を述べました。

ベトナム出身のロー、ティクイン チャンさん(2023-25/富士見RC)は「逃げる」というテーマで、時には辛いことから逃げる勇氣が必要であることを訴え、最優秀賞に輝きました。受賞に際し、「人前でのスピーチはとても勇氣が必要でしたが、この経験が今後の人生にきっと役に立つと思います。貴重な経験に感謝します」と、喜びをあらわにしました。最優秀賞を受賞した米山奨学生は4人目となりました。

2. 取引先で偶然学友と出会ったロータリー会員

さかのぼること7年前、第2770地区上尾西RCは当時、翁貞琮^{オウテイキョウ}さんの世話クラブでした。同クラブに所属していた水野正男会員は会員5人と一緒に上海と杭州を訪れ、翁さんに案内してもらったそうです。解散後、上海に残った水野会員は自身の取引先会社を訪問。日本語ができる社員として、汪雅萍^{オウマサコ}さんを紹介されました。自己紹介を済ませ、上海を訪れた理由を説明する際、ロータリーや米山奨学生について話したところ、「実は、私も2004年から2年間、東京レインボーRCの米山奨学生だったんです」と言われ、予期せぬ出会いに驚いたそうです。以降連絡を取り合い、翌年に再度上海

を訪れた時には、汪さんの計らいで米山学友たちを集めて懇親会を開くなど、中国の米山学友たちとの懸け橋にもなってくれているそうです。

今年8月に仕事で来日した汪さんと都内で再会した際、今や会社の重役として中枢の役割をこなしている姿を見て、改めて感銘を受けたそうです。水野会員いわく、日本語と英語も堪能で、仕事の範囲が広いという汪さん。同業の仲間であり、お互い世界を飛び回っているため、これまでにケルン、ハノーバー、上海や日本など世界各地で一緒に食事をするなど、7年前から偶然始まった交流は途絶えることなく、現在も素敵な関係が続いています。



汪さん(左)と、勤務先のハン社長

海外米山学友会総会情報

◆韓国◆ 2023年11月18日(土) 17:00~ ソウルパシフィックホテル「南山ホール」開催
大会参加費 ₩50,000 (参加申し込み先: yoneyama@hanmail.net)

◆台湾◆ 2023年11月25日(土) 17:30~21:00 格萊天漾大飯店 Great Skyview 開催
大会参加費 NT \$ 2,000 (参加申し込み先: yoneyama.rotary@gmail.com)



3. 寄付金速報 — 大口寄付に感謝 —

前年同期比

+ 8.9%

普 - 1.5% 特 + 18.7%

9月までの寄付金は、前年同期と比べて8.9%増（普通寄付金：1.5%減、特別寄付金：18.7%増）、約3,760万円の増加となりました。昨年度は

9月に学友からの約7千万円のご寄付があり、今年度は7月に1億円と2年続けて大口寄付をいただいたこともあり、当会のご寄付は好調に推移しています。会員皆さまからのご支援に心より厚く御礼申し上げます。10月の米山月間もご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いたします。

4. 21年ぶりの来日で語った夢

ウガンダで活躍する米山学友、スチュアート・マクブヤ・センパラさん（2001-02/鹿沼RC）が来日し、9月21日に千葉県館山市で行われた「安房地域のウガンダ支援交流 30周年記念式典（主催：NPO法人安房文化遺産フォーラム）」に出席しました。式典では、センパラさんが代表を務める「NGO ウガンダ意識向上協会（CUFI）」のこれまでの活動を報告したほか、支援者である安房地域の人々と感動の再会を果たしました。長期的な内戦により貧しい子どもや親のいない子どもが多いウガンダ。CUFIでは、こうした子どもやお年寄りに食べ物を支給し、教育支援や有機農業の指導などを行っています。

ウガンダで活躍する米山学友、スチュアート・マクブヤ・センパラさん（2001-02/鹿沼RC）が来日し、9月21日に千葉県館山市で行われた「安房地域のウガンダ支援交流 30周年記念式典（主催：NPO法人安房文化遺産フォーラム）」に出席しました。式典では、センパラさんが代表を務める「NGO ウガンダ意識向上協会（CUFI）」のこれまでの活動を報告したほか、支援者である安房地域の人々と感動の再会を果たしました。長期的な内戦により貧しい子どもや親のいない子どもが多いウガンダ。CUFIでは、こうした子どもやお年寄りに食べ物を支給し、教育支援や有機農業の指導などを行っています。

安房地域との支援交流のきっかけは、センパ



支援者たちと次々に記念撮影

ラさんが初来日した94年、当時学んでいたアジア学院（栃木県）の研修の一環として、館山市にある女性保護施設を訪問したことに始まります。ここでの出会いをきっかけに、同市の高校生がウガンダ支援活動を開始。現在、その支援の輪は、安房文化遺産フォーラムを中心に、安房地域の市民へと広がっています。

日本滞在中は、出身校であるアジア学院の50周年記念式典に出席したり、館山RCで卓話をするなど充実した日々を過ごしたセンパラさん。「皆さまのおかげで21年ぶりに来日し、活動を直接報告することができた。コロナ禍でウガンダの経済状況はますます悪化しているが、皆が食料に困ることなく、自立して暮らせる農場を作ることが私の夢」と語りました。

参加費は全額ウクライナへ支援となります。Web参加も可！

10/27 ウクライナ出身米山学友による講演のご案内

主催 大阪城南ロータリークラブ 協賛 吹田ロータリークラブ

ウクライナ支援講演

講演者



講演者のプロフィールはこちら

「ウクライナの現状と未来」

日時 2023年10月27日(金) 16:00(15:30受付)~18:00
場所 シェラトン都ホテル大阪 4階 浪速の間
参加費 1人 ¥10,000 (ロータリアン対象参加 / Web参加)
1人 ¥5,000 (ロータリークラブ対象参加 / Web参加)
※参加費はテチアナ・セゾネンコさんを通してウクライナ支援団体に全額寄付します。



戦火を逃れて現在デンマーク在住
テチアナ・セゾネンコ
Ph.D. Tetiana Sezonenko

■大阪大学大学院 理学研究所
高分子科学博士号取得
2017-19 ロータリー米山記念奨学生
世話クラブ 大阪城南ロータリークラブ
現在勤務先：FMCコーポレーション

参加申込は、
右記サイトを
ご覧下さい



<https://osakajonan-rc.org/ua/>

大阪城南ロータリークラブ事務局 ◆TEL.06-6796-9898 ◆email : johnan25@crocus.ocn.ne.jp